



## 今も変わらぬ「手塩にかけた米作り」

教頭 亀谷 信幸

平成26年11月の「広報やおつ」に、私の拙文を載せていただきました。当時、私は本校の生徒指導主事でした。下の文章がその時のものです。

「今年の初夏のある日の放課後のことでした。『先生、僕の祖父が育てた米を食べてみて』と、ひとりの3年生の生徒が自宅の田んぼで昨年の秋に収穫した米を私のところに持ってきました。以前に私とその生徒の2人で米作りの話をしたことを思い出しました。その生徒の家では、おじいさんが田起こし、苗代の耨蒔き、田植え・・・稲刈り、はざ掛け、脱穀・・などの全ての作業をこなしているそうです。その自慢のお米を持ってきてくれたのです。早速、その日、我が家の夕食でご相伴にあずかりました。家族揃ってその米の美味しさに感動しました。

私の自宅は可児の街中にあり、田んぼもあるのですが、今では田植えさえ近所の人に頼み、稲刈り脱穀も農協のコンバインという、全て機械任せです。収穫後に農協から自宅に運ばれたときにはどこの田んぼでとれた米かわからなくなってしまふほどです。ですから、全ての米作りの作業を、額に汗を流して収穫したお米を久しぶりに食べたのです。

1学期の終業式に、このおじいちゃんの手塩にかけた米作りの話を全校集会の場でしました。この手塩にかけた米作りは、八百津高校でのみんなの3年間に似ていないかと。入学式には、上級生がピカピカに磨いた教室（田んぼ）に初めて入り、1年間いろいろなことがあり、時には授業で褒められ、あるいは叱られて、授業がわからなければ放課後遅くまで先生に指導を受けます。部活動では上下関係を先輩から学び、クラスで困ったことがあれば担任の先生に相談し、新しい友人と喧嘩をして仲直りをします。そして1年、2年、3年生と様々な学校行事に取り組みます。小さな学校ですので顔色や顔つきに変化が現れると、すぐに担任の先生やクラスや部活動の仲間や顧問の先生が声をかけます。広い田んぼで、機械任せで誰が育てたかもわからないような米ではなく、小さな学校（田んぼ）で様々な友人や先輩あるいは先生に声をかけられ、叱られ、褒められ、八十八の手間をかけられたみんなは、きっとどこの田んぼでとれた米よりも美味しいに違いないという内容の話をしました。そして、その話の最後に、『3年生の皆さんは、この秋が収穫の時期です。9月の体育大会と就職試験、10月終わりの文化祭と上級学校の入学試験。これらの行事や試練を無事乗り越えて、りっぱな稲穂に育ってください。』と話をまとめて終わりました。（略）」（平成26年 広報やおつ 11月号）

平成29年度の収穫の時期も近づいてきました。体育大会は9月5日に開催され、今年度もこれまでの体育大会の歴史を塗り替えた内容となりました。文化祭は11月1日・2日に開催される予定です。また新たな八百津高校の歴史を刻んでくれることでしょう。保護者の皆様、町民の皆様、これからも温かくお見守りください。



平成28年度文化祭の様子

## 制服のリサイクルについて

八百津高校では、平成12年度に制服を一新しました。業者がデザインした何点もの制服の見本から、八百津高校の生徒と町内の中学生に投票してもらい制服のデザインが最終決定しました。今でも地域の人々から人気があるものです。

また、持続可能な社会の構築に向けた教育に関する取組のひとつとして、ペットボトルからリサイクルした素材によって制服を作り、さらに卒業時に制服を回収し軍手などにリサイクルするというダブルリサイクルは県内でも初のことであり当時話題になり新聞にも何回も載せてもらいました。

しかし、近隣の高校の制服に比べ少し高価であることや洗濯ができないことなどの理由から、平成24年度から抗菌素材で洗濯可能な素材に変更し、価格も抑えた現在の制服に変更されました。ペットボトルからリサイクルした素材で制服を作ることはなくなりましたが、卒業式の日卒業生から制服を回収し、軍手などに姿を変えて学校や地域で再利用することは現在でも続けています。

9月15日(金)に八百津高校校長室にて制服から姿を変えたりサイクル軍手500組を制服業者の株式会社チクマさんと天野商店さんから生徒会長の交告崇矩(こうけつ たかのり)君へ贈呈されました。

贈呈されたリサイクル軍手は校内での清掃活動をはじめとして、町内の連携中学校である八百津中学校・八百津東部中学校や町教育委員会などにも配って使用してもらっています。

秋の衣替えの時期もそろそろです。冬服のブレザーに袖を通すときには、制服の歴史やリサイクルにも想いをはせて気分も一新して、学校生活を送ってください。



## 君たち(18歳以上の一票を持つ高校生)が拓く日本の未来

2015年6月の公職選挙法改正によって、衆議院総選挙としては初めて満18歳以上が投票に参加することができます。若い世代が政治に関心をもち、積極的に政治に参加することが期待されていますので、高校3年生の満18歳以上の生徒の皆さんは自分の持つ一票を大切にしましょう。

## 芸術の秋・人権を考える秋

- ・10月11日(水) 午後1時30分より  
芸術鑑賞会「スペシャル学校寄席」(八百津町ファミリーセンター)
- ・11月 1日(水) 全日  
文化祭 ステージ発表・PTAバザーなど  
2日(木) 全日  
文化祭 展示・有志企画など
- ・12月 6日(水) 午後1時00分～午後3時10分(午前5分短縮授業)  
人権講習会① 映画「青い鳥」鑑賞(八百津高校体育館)
- ・12月11日(月) 午後1時20分～午後2時50分  
人権講習会② 「ホロコースト・杉原千畝について」(八百津高校体育館)  
講師 石岡 史子 様(ホロコースト教育資料センター理事長)

※文化祭につきましては、保護者の方や地域の皆様の鑑賞が可能ですのでどうぞ来校してください。芸術鑑賞会・人権講習会②につきましては保護者の方の鑑賞が可能です。